



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月8日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社
コード番号 4182 URL <https://www.mgc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 政志

問合せ先責任者 (役職名) IRグループマネージャー (氏名) たき澤 諭

TEL 03-3283-5041

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	525,297	22.7	44,888	53.0	58,312	75.0	39,350	51.2
2021年3月期第3四半期	428,181	7.7	29,335	11.1	33,311	47.5	26,033	76.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 47,306百万円 (48.5%) 2021年3月期第3四半期 31,857百万円 (85.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	189.16	
2021年3月期第3四半期	125.16	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	904,904	611,967	61.0
2021年3月期	836,364	581,411	62.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 551,788百万円 2021年3月期 524,264百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		35.00		35.00	70.00
2022年3月期		45.00			
2022年3月期(予想)				35.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期中間配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当10円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	17.5	55,000	23.6	73,000	45.3	50,000	38.6	240.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社(社名)MGC Specialty Chemicals Netherlands B.V.

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	225,739,199 株	2021年3月期	225,739,199 株
2022年3月期3Q	17,693,233 株	2021年3月期	17,726,057 株
2022年3月期3Q	208,033,288 株	2021年3月期3Q	208,001,258 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
3. その他	11
2022年3月期第3四半期決算概要	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。

詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおりであります。

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による影響からの回復がみられたものの、半導体不足や、原燃料価格の高騰、物流網の混乱の影響が継続しているほか、足元では新たな変異株の拡大などもあり、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルスの影響を受けた自動車分野等の需要が回復したほか、半導体向け製品の需要も市場拡大に伴って好調に推移しました。原燃料価格が上昇するなか、メタノール、ポリカーボネート等の汎用製品の市況も上昇しました。

なお、当社グループは、2021年度よりスタートした新中期経営計画「Grow UP 2023」のもと、「環境変化に強い収益構造への転換」を目指し、「競争優位（“差異化”）事業の更なる強化」、「新規事業の創出と育成の加速」、「不採算事業の見直し・再構築」の施策による事業ポートフォリオ改革を推進してまいります。

当社グループの売上高は、メタノール等の市況上昇や、全般的な販売数量の回復などにより、増収となりました。

営業利益は、原燃料価格の上昇や、光学樹脂ポリマーの販売数量減少などの減益要因があったものの、新型コロナウイルスで影響を受けた製品の需要回復や、汎用製品の市況上昇、半導体向け製品の販売数量増加などにより、増益となりました。

経常利益は、営業利益の増加に加え、エンジニアリングプラスチック関連会社および海外メタノール生産会社に係る持分法損益が増加したことなどから、増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、中国のポリカーボネート子会社の減損損失(36億円)など特別損失が増加したものの、経常利益が増加したことなどから、増益となりました。

以上の結果、売上高5,252億円（前年同期比971億円増（22.7%増））、営業利益448億円（前年同期比155億円増（53.0%増））、持分法利益109億円（前年同期比71億円増（187.0%増））、経常利益583億円（前年同期比250億円増（75.0%増））、親会社株主に帰属する四半期純利益393億円（前年同期比133億円増（51.2%増））となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

〔基礎化学品〕

メタノールは、市況が前年同期に比べ大幅に上昇したことなどから、増収増益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、原料価格の上昇があったものの、ネオペンチルグリコールの市況上昇などにより、増収増益となりました。

ハイパフォーマンスプロダクツ※1は、メタキシレンジアミン(MXDA)の需要が新型コロナウイルスの影響を受けた前年同期から回復したほか、芳香族アルデヒドの販売も堅調であったことなどから、増収増益となりました。

※1 MXDA、MXナイロン、芳香族アルデヒド等、旧特殊芳香族化学品の製品群

キシレン分離/誘導品※2は、高純度イソフタル酸(PIA)の市況が上昇したことなどにより、増収増益となりました。

※2 メタキシレン、PIA等、旧汎用芳香族化学品の製品群

発泡プラスチック事業は、原燃料価格の上昇があったものの、フラットパネルディスプレイ保護材や自動車向け材料の販売数量が増加したことなどから、前年同期を上回る増益となりました。

以上の結果、売上高3,126億円（前年同期比793億円増（34.0%増））、営業利益235億円（前年同期比167億円増（245.0%増））、経常利益288億円（前年同期比201億円増（230.1%増））となりました。

〔機能化学品〕

無機化学品は、半導体向け薬液の販売数量が増加したことなどから、増収増益となりました。

エンジニアリングプラスチックスは、原燃料価格の上昇などによりポリカーボネートの採算が悪化したものの、自動車分野を中心に販売数量が回復したことや、ポリアセタールの販売好調などにより、増収増益となりました。

光学材料は、光学樹脂ポリマーの需要が第1四半期を底に回復に転じたものの、上半期の顧客の在庫調整などにより販売数量が減少したことなどから、減収減益となりました。

電子材料は、主力の半導体パッケージ用BT材料において、PC関連機器や家電など幅広い分野で使用される汎用材料の販売数量が増加したことに加え、メモリーや5Gスマートフォン向けも好調に推移したことなどから、増収増益となりました。

「エージェレス®」等の脱酸素剤は、国内食品向けの回復等により、新型コロナウイルスの影響を受けた前年同期を上回る損益となりました。

以上の結果、売上高2,124億円（前年同期比178億円増（9.2%増））、営業利益244億円（前年同期比1億円減（0.5%減））、経常利益312億円（前年同期比54億円増（21.3%増））となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業の売上高は1億円（前年同期比0億円減（28.9%減））、営業損失は1億円（前年同期比0億円悪化）、経常損失は0億円（前年同期比1億円悪化）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて685億円増加の9,049億円となりました。

流動資産は、368億円増加の4,390億円となりました。増加の要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加などがあります。

固定資産は、316億円増加の4,658億円となりました。増加の要因は、投資有価証券の増加などがあります。

負債は、379億円増加の2,929億円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより352億円増加しました。固定負債は、退職給付に係る負債の増加などにより27億円増加しました。

純資産は、305億円増加の6,119億円となりました。増加の要因は、利益剰余金の増加などがあります。

この結果、自己資本比率は61.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2021年11月5日に公表しました2022年3月期の連結業績予想などを修正しておりますので、本日公表の「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,785	84,504
受取手形及び売掛金	159,018	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	185,851
有価証券	269	43
商品及び製品	63,887	75,178
仕掛品	13,242	20,313
原材料及び貯蔵品	44,145	53,649
その他	20,209	20,842
貸倒引当金	△416	△1,351
流動資産合計	402,141	439,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	92,274	98,992
機械装置及び運搬具(純額)	81,113	80,415
その他(純額)	76,543	90,006
有形固定資産合計	249,931	269,413
無形固定資産		
のれん	4,914	4,920
その他	5,584	6,140
無形固定資産合計	10,499	11,060
投資その他の資産		
投資有価証券	158,718	169,583
その他	15,619	16,370
貸倒引当金	△545	△554
投資その他の資産合計	173,792	185,398
固定資産合計	434,223	465,873
資産合計	836,364	904,904

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,308	100,771
短期借入金	40,087	38,126
未払法人税等	5,809	8,040
引当金	6,373	3,532
その他	40,368	52,749
流動負債合計	167,947	203,221
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	36,202	36,274
引当金	1,517	1,820
退職給付に係る負債	7,150	8,118
資産除去債務	5,113	5,110
その他	17,022	18,392
固定負債合計	87,006	89,716
負債合計	254,953	292,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	34,301	34,339
利益剰余金	459,790	483,509
自己株式	△21,562	△21,524
株主資本合計	514,499	538,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,419	12,949
繰延ヘッジ損益	△618	△672
為替換算調整勘定	△3,542	1,985
退職給付に係る調整累計額	△494	△769
その他の包括利益累計額合計	9,765	13,493
非支配株主持分	57,146	60,178
純資産合計	581,411	611,967
負債純資産合計	836,364	904,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	428,181	525,297
売上原価	328,442	401,056
売上総利益	99,739	124,241
販売費及び一般管理費	70,404	79,352
営業利益	29,335	44,888
営業外収益		
受取利息	270	253
受取配当金	2,277	3,058
持分法による投資利益	3,825	10,976
その他	2,520	3,191
営業外収益合計	8,894	17,480
営業外費用		
支払利息	589	614
出向者労務費差額負担	1,064	1,051
固定資産処分損	922	1,018
その他	2,342	1,371
営業外費用合計	4,918	4,056
経常利益	33,311	58,312
特別利益		
受取保険金	—	2,616
段階取得に係る差益	—	796
投資有価証券売却益	1,496	777
固定資産売却益	257	—
受取補償金	152	—
特別利益合計	1,905	4,190
特別損失		
減損損失	373	4,983
貸倒引当金繰入額	—	860
関係会社事業損失引当金繰入額	—	255
損害補償損失	307	228
火災による損失	—	128
特別損失合計	681	6,457
税金等調整前四半期純利益	34,536	56,045
法人税等	5,779	13,388
四半期純利益	28,756	42,657
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,723	3,306
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,033	39,350

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	28,756	42,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,180	△1,526
繰延ヘッジ損益	△6	6
為替換算調整勘定	△82	3,835
退職給付に係る調整額	241	△194
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,232	2,528
その他の包括利益合計	3,100	4,648
四半期包括利益	31,857	47,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,375	43,105
非支配株主に係る四半期包括利益	2,481	4,201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間より、MGC Specialty Chemicals Netherlands B.V.は重要性が増したことから、連結の範囲に含めております

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、買戻し義務を負っている有償支給取引について、従来は支給品の譲渡に係る収益を認識していましたが、支給品の譲渡に係る収益を認識せず、当該支給品の消滅も認識しない方法に変更しております。

また、顧客への商品等の販売における当社グループの役割が代理人に該当する取引について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、当該対価の総額から商品等の仕入先への支払額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,889百万円、売上原価は26,779百万円、販売費及び一般管理費は56百万円それぞれ減少し、営業利益は53百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は33百万円それぞれ減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は50百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これにより、その他有価証券のうち市場価格のある株式については、従来、決算日前1ヶ月の市場価格等の平均に基づく時価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、決算日の市場価格等に基づく時価法に変更しております。なお、当第3四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品 事業部門	機能化学品 事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	233,295	194,611	275	△1	428,181
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,672	353	△1	△6,024	—
計	238,968	194,964	274	△6,025	428,181
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	8,747	25,782	41	△1,259	33,311

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△1,259百万円は、セグメント間取引消去△9,686百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用8,427百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「基礎化学品事業部門」において373百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品 事業部門	機能化学品 事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	312,690	212,456	195	△44	525,297
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,077	68	12	△4,158	—
計	316,768	212,524	207	△4,202	525,297
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	28,872	31,279	△81	△1,758	58,312

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△1,758百万円は、セグメント間取引消去△274百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,484百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能化学品事業部門」において3,789百万円、「その他の事業」において1,194百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「基礎化学品事業部門」において、(株)J-ケミカルの株式を取得し連結子会社化したことにより、292百万円のがれんが発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、「その他の事業」に含まれていたエネルギー等に関連する事業を「基礎化学品事業部門」に移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(会計方針の変更)

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「基礎化学品事業部門」の外部顧客への売上高が11,372百万円減少、セグメント利益が22百万円減少し、「機能化学品事業部門」の外部顧客への売上高が15,510百万円減少、セグメント利益が2百万円減少し、「その他の事業」の外部顧客への売上高が6百万円減少し、「調整額」のセグメント損失が8百万円増加しております。

3. その他

2022年3月期 第3四半期決算概要

①連結経営成績

(単位:億円)

	2021年3月期 第3四半期※	2022年3月期 第3四半期	増減額	2021年3月期 通期実績※	2022年3月期 通期予想
売上高	4,281	5,252	971	5,957	7,000
基礎化学品	2,389	3,167	777	3,378	4,189
機能化学品	1,949	2,125	175	2,678	2,873
その他の事業及び調整額	△ 57	△ 39	17	△ 99	△ 63
営業利益	293	448	155	445	550
基礎化学品	68	235	167	128	256
機能化学品	245	244	△ 1	348	332
その他の事業及び調整額	△ 20	△ 30	△ 10	△ 31	△ 38
営業外損益	39	134	94	57	180
経常利益	333	583	250	502	730
基礎化学品	87	288	201	142	339
機能化学品	257	312	54	375	418
その他の事業及び調整額	△ 12	△ 18	△ 6	△ 15	△ 27
特別損益	12	△ 22	△ 34	△ 12	△ 60
税金等調整前当期(四半期)純利益	345	560	215	489	670
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	260	393	133	360	500
1株当たり当期(四半期)純利益	125.16円	189.16円	64.00円	173.41円	240.34円

2022年3月期 第3四半期 連結範囲 連結子会社 71社 持分法適用会社 15社

【ご参考：主要製品群(旧セグメント)別】

	2021年3月期 第3四半期※	2022年3月期 第3四半期	増減額	2021年3月期 通期実績※	2022年3月期 通期予想
売上高	4,281	5,252	971	5,957	7,000
天然ガス系化学品事業	1,098	1,678	579	1,585	2,232
芳香族化学品事業	1,346	1,516	169	1,834	1,988
機能化学品事業	1,496	1,583	87	2,074	2,168
特殊機能材事業	472	542	69	623	707
その他の事業及び調整額	△ 131	△ 67	63	△ 160	△ 97
営業利益	293	448	155	445	550
天然ガス系化学品事業	△ 33	83	116	9	89
芳香族化学品事業	101	151	50	117	165
機能化学品事業	164	116	△ 47	228	170
特殊機能材事業	81	126	45	119	161
その他の事業及び調整額	△ 19	△ 29	△ 9	△ 30	△ 37
営業外損益	39	134	94	57	180
経常利益	333	583	250	502	730
天然ガス系化学品事業	△ 11	135	147	26	172
芳香族化学品事業	99	153	54	116	166
機能化学品事業	177	175	△ 2	255	247
特殊機能材事業	79	137	57	119	170
その他の事業及び調整額	△ 12	△ 17	△ 5	△ 15	△ 27

主要製品群(旧セグメント)別の内訳は、便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

※ 2022年3月期より、一部製品のセグメント変更を行っております。前年度のセグメント情報についても変更後の区分方法により作成しております。

②営業外損益項目及び特別損益項目

営業外損益項目

(単位:億円)

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減額	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期予想
持分法による投資損益	38	109	71	51	174
金融収支	19	26	7	19	
為替差損益	0	7	6	8	5
その他	△ 19	△ 9	9	△ 22	
営業外損益合計	39	134	94	57	180

特別損益項目

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減額	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期予想
受取保険金	—	26	26	—	
段階取得に係る差益	—	7	7	—	
投資有価証券売却益	14	7	△ 7	18	
固定資産売却益	2	—	△ 2	2	
受取補償金	1	—	△ 1	1	
補助金収入	—	—	—	1	
減損損失	△ 3	△ 49	△ 46	△ 16	
貸倒引当金繰入額	—	△ 8	△ 8	—	
関係会社事業損失引当金繰入額	—	△ 2	△ 2	—	
損害補償損失	△ 3	△ 2	0	△ 3	
火災による損失	—	△ 1	△ 1	—	
子会社における送金詐欺損失	—	—	—	△ 9	
事業撤退損	—	—	—	△ 2	
子会社整理損	—	—	—	△ 2	
投資有価証券評価損	—	—	—	△ 1	
特別損益合計	12	△ 22	△ 34	△ 12	△ 60

③連結財政状態

(単位:億円)

	2021年3月期末	2022年3月期 第3四半期末	増減額
流動資産	4,021	4,390	368
有形・無形固定資産	2,604	2,804	200
投資その他の資産	1,737	1,853	116
資産合計	8,363	9,049	685
有利子負債	984	1,064	79
その他負債	1,564	1,864	299
負債合計	2,549	2,929	379
株主資本	5,144	5,382	237
その他の包括利益累計額	97	134	37
非支配株主持分	571	601	30
純資産合計	5,814	6,119	305
負債純資産合計	8,363	9,049	685

④各種指標推移(連結)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想
設備投資額(億円)	309	392	423	402	700
(うち第3四半期累計)	232	287	321	267	416
減価償却費(億円)	270	274	295	306	320
(うち第3四半期累計)	200	203	219	226	239
研究開発費(億円)	189	186	196	199	215
(うち第3四半期累計)	142	138	140	149	156
期末人員数(人)	8,009	8,276	8,954	8,998	10,081
ROA(総資産経常利益率)	10.6%	8.7%	3.9%	6.2%	8.6%
ROE(自己資本利益率)	13.6%	11.3%	4.3%	7.1%	9.4%
ROIC(投下資本利益率)※1	13.2%	10.9%	4.9%	7.7%	10.5%
1株当たり配当金	59.0円	70.0円	70.0円	70.0円	80.0円※2
(うち第2四半期末)	24.0円	35.0円	35.0円	35.0円	45.0円※2

※1 ROIC(投下資本利益率) = 経常利益/投下資本

※2 記念配当10.0円を含む

⑤為替・市況前提

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	実績		実績		実績		実績		実績	予想
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	4-12月	1-3月	4-12月	1-3月
平均為替レート(JPY/US\$)	111	111	110	112	109	109	106	106	111	113
平均為替レート(JPY/EUR)	126	133	130	127	121	120	122	128	131	130
原油価格(Dubai) (US\$/BBL)	50	62	73	65	64	56	40	60	72	85
メタノール(US\$/MT) (アジアスポット平均価格)	296	381	408	335	277	245	222	358	394	370
原料キシレン (US\$/MT)	650	725	845	730	705	640	430	670	780	840
ビスフェノールA ※ (US\$/MT)	1,100 ~1,300	1,200 ~1,700	1,600 ~1,900	1,200 ~1,800	1,000 ~1,450	1,050 ~1,350	900 ~2,400	1,650 ~3,300	2,100 ~3,700	2,000 ~2,500
ポリカーボネート ※ (US\$/MT)	2,500 ~2,900	2,900 ~3,900	2,700 ~3,800	2,100 ~2,800	1,900 ~2,250	1,650 ~2,000	1,500 ~3,200	2,700 ~4,000	2,650 ~4,050	2,500 ~3,200

※ 期間中の最小値および最大値を表記しております。